

## ブリュッケ

## 玉造順一 市政レポート

ブリュッケとは、ドイツ語で「橋」。玉造順一は、市政と市民の架け橋となって、市民の声が反映される市政の実現をめざします。

市民との対話と脱原発に全力  
福島第一原発事故に思う

戦後の日本で中曽根康弘氏や正力松太郎氏らが原発開発を国策として推進させようとしたとき、当時の東電社長であった木川田一隆氏は「原爆の悲惨な洗礼を受けている日本人が、あんな悪魔のような代物を受け入れてはならない」と正面から反対したのは有名な話です。

その後、木川田氏が原発推進に転換したのは、電力への国家権力介入を防ぐため、先んじて自ら東電が原発参入を発表する必要があったからでした。第二次世界大戦を遂行するために、政府は電力会社の再編と統制を強力に押し進めたことから、戦争を繰り返さないための電力業界としての

反省として、民間による電力供給は平和国家の基礎、という教訓があったとのこと。

原発事故以来、私は電力会社などの年史や関係者の自叙伝を片っ端から読みました。電力の歴史は日本経済の歴史と一体のもので大変興味深いですし、そこに関わった人々の気高さは、立場が違えども尊敬できる見識の方ばかりです。そうした先人たちの哲学や信念は、今の政府と電力会社の責任のなすりつけ合いを見限り、微塵も感じることができません。

26年前のチェルノブイリ原発事故、13年前のJCO臨界事故に続いて、水戸からわずか150キロ

のフクシマで起きた原子力災害は、人々の生活そのものを奪い、命や健康を脅かし、加害企業でさえ収束させることができないという事実を、われわれ人類に突き付けています。「わが亡き後に洪水は来たれ」と自分の時代だけ謳歌するのではなく、持続可能な社会・世界とするため、私は脱原発の運動と、市民の皆様との対話にしっかりと取り組んでいきたいと思えます。



2月26日 東海第二原発  
ハイロアクションで

たまつくり じゅんいち 40歳

## ●プロフィール●

1971年(S46)11月2日 本町1丁目に生まれる。血液型A型。趣味はカラオケ、旅行、読書、スキー。浜田小、水戸二中、緑岡高校、茨城大学人文学部を卒業し、労働金庫に8年間勤務。茨城大学大学院修士課程修了。

2003年水戸市議会で初当選し、現在3期目。

<主な活動> 市議会産業水道委員会所属  
市議会会派「民主・社民フォーラム」代表  
水戸地方農業共済事務組合監査  
緑岡高校同窓会幹事  
茨城大学文理・人文学部同窓会理事  
社民党茨城県連合幹事長など

E-mail jtama@sdp.or.jp

ホームページ <http://tamatsukuri-jun1.com>

脱原発サークル  
「地球カフェ・結」OPEN!

脱原発や環境問題に興味ある方なら、どなたでも歓迎。毎月1回集まって、みんなでお茶しながら、ワイワイ楽しい議論をしています(^^) 出入り自由。あなたのご参加をお待ちしています!

お問い合わせは、  
玉造順一事務所へお気軽に。Tel 029-303-1255

# 3月 議会報告

## 市民生活が大切にされる水戸市政の実現を！

### 市長の政治姿勢・行財政改革などについて代表質問

#### 1 市長の政治姿勢について

●玉造 市長は原発に対してどのような考えを持っているのか。また、市長は所信の中で創エネルギーという考えを示し、太陽光発電の促進に加え、雇用の場の確保として環境や新エネルギーに係る次世代型産業に積極的に取り組む姿勢であることから、本市がエコタウンとして積極的な対応をすべきと考えるが、市長の考えを伺いたい。

#### 2 行財政改革について

●玉造 国や自治体の借金については、多くの市民が注目している。私は、例えば2020年度には合計公債残高を1800億円にすると、5年後の2017年度には実質公債費比率を8%にするという具体的な財政目標を掲げ、歳入強化と歳出見直しを市民にも理解してもらうことが重要だと考えるが、市長の見解はいかがか。

#### 3 まちづくりについて

●玉造 本市では今年度バス実態調査を実施したが、公共交通政策を具体的にどう進めていくのか。公共交通基本計画策定の見込みや方針について伺いたい。

#### 4 教育行政について

●玉造 子どもの様々な問題行動に関して、家庭教育と学校教育の役割が論じられるが、本市の子どもの生徒指導上の問題と、それに対する小中学校の対応策をお尋ねしたい。

#### ●高橋市長

東海第二原発の再稼働については、かなり高いハードルを越えることが前提である。再生エネルギーや創エネルギーが進んでいけば、火力や原子力など従来型のエネルギーを減らすことができるので、自治体としても太陽光などをしっかりと推進していきたいと考えている。

#### ●高橋市長

目標を見据えて財政健全化に取り組むことが、行財政改革を強力に推進する上で重要であると考えている。ご指摘の実質公債費比率などの目標値設定については、検討してまいりたい。

#### ●高橋市長

各団体においては経営改善計画を進めるとともに、市としては派遣職員の引き上げなど団体の自立化を推進し、積極的な指導・監督に努めている。団体の統合についても、社会福祉

#### ●高橋市長

事業団と社会福祉協議会、公園協会とスポーツ振興協会において人事交流を開始することも、統合に向けた検討の推進について指示を行った。

#### ●高橋市長

現在、バス実態調査の結果を踏まえて、利便性の向上や市民意識の改善などを進めている。高齢化社会の移動手段確保を考えれば、路線バスの活性化と福祉的な視点の交通を組み合わせ、公共交通計画の必要性を強く認識しているため、その策定を全庁的に検討していく。

#### ●高橋市長

不登校は増加傾向にあるため、未然防止と解消に努めていく。暴力行為は少ない傾向にあるが、広域化や深刻化が

### 新聞記事から

このほか、2012年3月20日朝日新聞茨城版「乗り越える―大震災から1年―」でも、玉造順一の脱原発の活動が紹介されました。

#### 玉造・水戸市議 新幹事長に選出

社民連合定期大会  
社民党県連合は4日、水戸市で定期大会を開き、飯田正美・水戸市議の後任の新しい幹事長に玉造順一・水戸市議を選出した。代表は3期目となる井坂章・ひたちなか市議を再任した。ともに任期は2年。

▲3月5日 朝日新聞

#### 外郭団体の統合 水戸市が検討へ

水戸市の高橋靖市長は14日、市議会代表質問で、外郭4団体について「新年度に統合に向けた検討に入る」と答弁した。民主・市民フォーラムの玉造順一代表の質問に答えた。市が統合を検討しているのは、社会福祉協議会と社会福祉事業団、公園協会とスポーツ振興協会。

▲3月15日 朝日新聞

#### 連合第17回定期大会



社民党県連合大会で、幹事長就任あいさつ

#### ◆主な質問と答弁を

紹介いたしました。今回の代表質問は、5分野16項目について質問、提案いたしました。水戸市議会では、本会議と委員会の質疑の模様を動画で配信しておりますので、ぜひご覧ください。

〈玉造順一事務所〉  
水戸市本町1丁目10-11  
電話 029-303-1255 FAX 029-303-1260

必見! 玉造順一OfficialWebSite  
<http://tamatsukuri-jun1.com>  
ブログ・ツイッターで最新情報を発信しています。